



金沢大学薬学シンポジウム2009

—創薬動態フォーラム in 金沢—

主催：金沢大学 医薬保健研究域 薬学系

<http://www.p.kanazawa-u.ac.jp>

日時：2009年11月30日(月) 13:00～17:40

場所：金沢大学角間キャンパス 自然科学図書館棟大会議室
(北陸鉄道バス「金沢大学自然研前」停留所すぐ)

イントロダクション 玉井郁巳 13:00-13:10

Session 1 座長 白坂善之、深見達基
中島美紀 (薬物代謝化学) 13:10-13:35
薬物動態とマイクロRNA

家入一郎 13:35-14:25
(九州大学大学院薬学研究院 薬物動態学分野)
医薬品開発・適正使用におけるPGxの意義

千葉雅人 14:25-15:15
(大鵬薬品工業株式会社 つくば研究所)
医薬品創製のための前臨床代謝・動態研究

～休憩～ 15:15-15:30

特別講演 座長 玉井郁巳
Prof. Varanuj Chatsudthipong 15:30-16:30
(Department of Physiology, Mahidol University, Bangkok, Thailand)
Expressional Regulation of OAT/OCT Transporters

Session 2 座長 杉浦智子
中西猛夫 (薬物動態学) 16:30-16:55
がんターゲティングとトランスポーター

中道範隆 (分子薬物治療学) 16:55-17:20
神経幹細胞の機能解析 -神経幹細胞を標的とする創薬戦略-

総合討論 横井毅、加藤将夫 17:20-17:40

参加登録方法：当日、会場までお越し下さい(入場無料)

実行委員：玉井郁巳(委員長)、横井 毅、加藤将夫

連絡・問合せ先 920-1192 金沢市角間町 金沢大学医薬保健研究域薬学系
薬物動態学研究室 玉井郁巳 Tel:076-234-4479, tamai@p.kanazawa-u.ac.jp

研究室と創薬現場、日本と海外、大学と企業、様々な立場から
PK、酵素、トランスポーター、薬物動態を決める因子の解析から創薬を語る
創薬動態フォーラム in 金沢、第一回シンポジウムへどうぞ